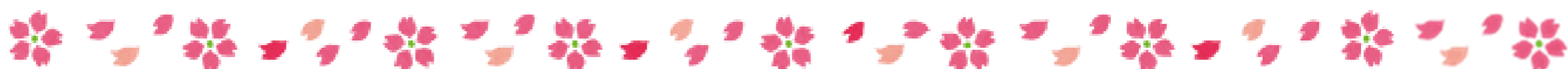


新年度になりました。進級、進学、就職などで生活環境が変わった方もいらっしゃるでしょう、特に変わりのない4月を迎えた方もいらっしゃると思います。私は特に変わらないのですが、今年度もカスタネット通信で、言語聴覚士の仕事のことやおぎはら耳鼻咽喉科のことなどを発信していこうと考えています。カスタネット通信4月号はまたまた絵本についての話題です。

オギジビ文庫



お子さんたちが楽しみにしてくれているオギジビ文庫では、毎年月刊絵本2冊とその年度のテーマに沿った絵本を2冊紹介しています。昨年度のテーマは「ST室の本」で、ST室①に置いてある絵本を子どもたちの指導にどのように用いているか、ということも含め紹介していました。

さて、今年度のテーマはオギジビ文庫の選書をしてくださった絵本マスターと相談し、**「今ある絵本の作家の別の本」**と**「教科書掲載本」**になりました。

「今ある絵本の作家の別の本」では、“だるまちゃん”や“ぐりとぐら”など、お馴染みのキャラクターが登場する絵本や、“この絵本とこの絵本、同じ作家だったんだ！”と驚くような絵本が登場します。選書の基準は、“私が読みたかった本”ということもありますが、共に生誕100年記念の安野光雅さんとかこさとしさんの絵本ももちろん入っています。



おとなも乗れる、
「ぐりとぐら」の
たまごのくるま



「おおきなものの
すきなおうさま」の
朝ご飯

「教科書掲載本」というと“お勉強”というイメージを持ってしまいかもしれませんが、心に残る物語も多かったと思います。そして、何十年も変わらず掲載されている物語もあります。数年前に読んだ人、子どもだった頃に読んだ人、お子さんの音読練習に付き合っただけの人、さまざまな記憶と共に楽しんでいただけたのではないのでしょうか。もちろん、初めて読む人にとっても楽しめるラインナップだと思います。

「今ある絵本の作家の別の本」と**「教科書掲載本」**をテーマに選書すると、どうしても年長者向けの絵本が多くなってしまいうので、月刊絵本は「こどものとも0.1.2.」にして、小さいお子さんにも楽しんでもらえるラインナップとしました。もうひとつは「かがくのとも」です。こちらもお楽しみに！

でんしゃにのってうみへいったよ



先日、湘南方面にでかける用事があり、せっかくなので「でんしゃにのってうみへいったよ」の舞台を巡ってきました。「でんしゃにのってうみへいったよ」は岡本雄司さんの絵本(福音館書店、こどものとも年中向き、2024年8月号)で、主人公の「ぼく」が電車に乗って旅をします。



オギジビ文庫にあります

絵本に登場する「でんしゃ」は**JR横須賀線**(大船→鎌倉)、**江ノ島電鉄線**(鎌倉→江ノ島)、**湘南モノレール**(湘南江の島→大船)です。「ぼく」の家は大船にあるようで、上記の順に回っていましたが、私の家は小田急小田原線沿いなので、江ノ島電鉄線の江ノ島駅からスタートし、「ぼく」とは逆に回りました。

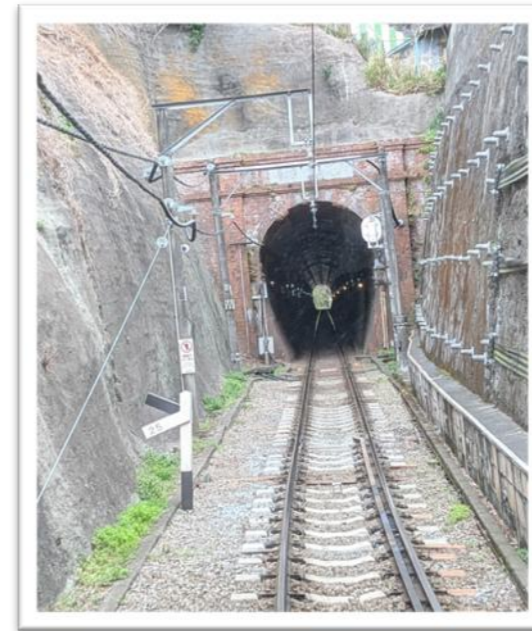
ところで、この文章を書いている「江の島」なのか? 「江ノ島」なのか? と思い調べました。現在は「江の島」が正式な地名(藤沢市江の島)ですが、歴史ある駅名、店舗、文化財などでは「江ノ島」が根強く使われているようです。



カスタネット通信1月号でご紹介したアプリが、辿った道筋を記録していました。



① 腰越付近
家が近い。



③ 極楽寺⇔長谷間
江ノ電唯一のトンネル



⑤ 湘南モノレール



② 七里ガ浜付近
曇りで海との境が分ならず。



④ 北鎌倉
踏切の向こうは円覚寺。

以下はそれぞれの路線の感想です。

江ノ島電鉄線:

朝、雨が降っていたこと、春休み前だったこと、9時台だったこともあり、混雑しておらず先頭車両の一番前に乗れました。まさに「ぼく」が立っていたところです。何十年ぶりの江ノ電乗車でしたが、記憶していたよりも家・車・歩行者との距離が近く、驚きました。江ノ島駅から鎌倉駅まで約25分の旅です。

JR横須賀線:

鎌倉から大船は2駅しかないなので、約7分です。「ぼく」が乗ったのは青色の電車でしたが、私が乗ったのは湘南新宿ライン直通電車だったので緑とオレンジのラインの電車でした。鎌倉も久しぶりだったので北鎌倉で途中下車し、円覚寺の参拝をしてきました。

湘南モノレール:

大船から湘南江の島まで15分でした。乗っている間はぶら下がっている感もなく、結構スピードを出すのだなと思いました。懸垂式モノレールはこの湘南モノレールと千葉モノレールしかない、という記事を読み、そういえば東京モノレールはぶら下がっていない(跨座式)と気づきました。また、モノレールのように見えるけど、ゆりかもめはモノレールではなく「新交通システム」ということも知りました。

周るだけなら約1時間の旅ですが、車窓から見る景色だけでなく、途中下車をして散策することも楽しめるコースでした。

ちなみに、岡本雄司さんの絵本は「今ある絵本の作家の別の本」として、来月オギジビ文庫に登場する予定です。またまた電車の本です。お楽しみに!